

「EV でさらなる環境保全効果狙う実証実験 リコーが平日と休日の利用法使い分けで」

社用の電気自動車 (EV) を休日に住民や観光客対象のカーシェアリングに活用して EV 保有コスト減と温暖化対策効果をさらに高めようという実証実験をリコーグループが始める。

株式会社リコーとリコージャパン株式会社の実証実験は、高知市のリコージャパン高知支社に日産自動車製 EV (日産リーフ) 2 台と EV 充電用設備を導入し、3 月 28 日から 1 年間実施する。平日はリコージャパン高知支社の営業車として使用し、休日は近隣住民や観光客向けにカーシェアリングとして貸し出す。



リコージャパン高知支社に導入される EV(リコーグループプレスリリースから)

カーシェアリングは、日産自動車と日産カーレンタルソリューションが昨年 1 月から始めたカーシェアリングサービス「NISSAN e-シェアモビ」を利用する。EV を社用以外にも活用することで EV 導入時の運用コスト軽減にどの程度寄与できるかを検証するとともに、温室効果ガスの排出削減に貢献することで EV の普及促進を狙う。

リコーグループは、事業に必要な電力を 100%再生可能エネルギーで賄うことを目指す企業の連合体「RE100」(Renewable Energy 100%)に、日本で最初に加盟した企業としても知

られる。「RE100」は2014年に英国に本部を置く国際環境NPO「The Climate Group」が中心となって設立した。

2017年4月に「RE100」に加盟したリコーグループは、「使用電力を2050年までに100%、2030年までに少なくとも30%再生可能エネルギーで賄う」など積極的な環境目標を設定、公表している。今回の実証試験により、脱炭素社会の実現や国連の持続可能な開発目標「SDGs(Sustainable Development Goals)」の達成に向けて地域社会とともに取り組む機運を醸成していきたい、とリコーグループは言っている。

小岩井忠道(客観日本編集部)

関連サイト

リコー・プレスリリース「リコーとリコージャパン、社用EV（電気自動車）のカーシェアリングに関する実証実験を開始～平日は営業車として、休日は近隣住民や観光客向けにカーシェアリングとして活用～」

https://jp.ricoh.com/release/2019/0319_1?_ga=2.45803427.66635960.1553042756-2113201748.1553042756

NISSAN e-シェアモビ

<https://e-sharemobi.com/>